

会報

KAI-HOU

No.306
2013. 9. 13



福島の子ども保養プロジェクト「コヨット! in おおさか」

[開催報告]	第1回理事会	1
[開催報告]	夏休み文楽鑑賞のつどい	7
	夏休みファミリーコンサート	7
	社会福祉問題研修会	8
	東日本大震災被災地支援活動2013年度の取り組み	9
[連載]	“女だから” “男だから” はもうやめよう	16
[スケジュール]		17

大阪府生協連 2013年度第1回理事会開催報告

開催概要

- I. 日時 2013年7月18日(木)
14時3分～15時45分
- II. 場所 大阪府社会福祉会館 4階403
- III. 出席者
(会長理事) 惣宇利
(副会長理事) 柴橋、藤井
(専務理事) 安本
(常務理事) 中村
(常任理事) 池田、入船、北川、羽多野、三上、森本
(理事) 青松、浅井、上原、江口、大内、勝山、田中、間(15:30報告事項7から退席)、洞井、堀内、松本
(監事) 岡田、吉川(15:00報告事項1から退席)

以上、理事総数25名中22名出席、監事総数3名中出席1名

- (欠席理事) 奥、鎌田、矢田部
(欠席監事) 松岡特定

IV. 議長 惣宇利会長理事

V. 議事の経過と要領との結果

定刻になり、惣宇利会長理事が議長として、理事総数の過半数以上の出席をみたので、理事課の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣し議事を進行了た。

審議事項

1 代表理事選定の件

安本専務理事より、代表理事選定について、惣宇利会長理事及び中村常勤理事を代表理事とする旨提案がされた討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

惣宇利会長理事、中村常勤理事が代表理事となることを承諾した。

2 常務理事及び常任理事互選の件

安本専務理事より、常務理事及び常任理事の互選について、中村常勤理事を常務理事に、三上理事を常任理事にする旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

3 役員報酬決定の件

安本専務理事より、役員報酬について、第52回通常総会で議決された役員報酬総額の範囲内で支給対象役員(惣宇利会長理事、中村常務理事)に対する支給金額及び支給方法について、提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

4 理事の役割分担の件

安本専務理事より、理事会の役割分担について提案がされた。

討議の結果、一部提案を修正し、全員異議なく承認された。

なお、松本理事より「惣宇利会長理事の各委員会・協議会への出席について」意見が出された。

(1) 内部委員会・協議会

委員会・協議会名	担当
人事委員会	惣宇利会長理事、柴橋副会長理事、藤井副会長理事、安本専務理事、中村常務理事
組織活動委員会	松本理事、中村常務理事、小山事務局長
生協大会実行委員会	上原理事、中村常務理事、小山事務局長
文楽・コンサート実行委員会	矢田部理事、中村常務理事、小山事務局長
ジェンダーフォーラム協議会	鎌田理事、羽多野常任理事、青松理事、浅井理事、中村常務理事、小山事務局長
大規模災害対策協議会	中村常務理事、池田常任理事、入船常任理事、小山事務局長

(2) 日本生協連等

会議・委員会・協議会名	担当
府県連活動推進会議	中村常勤理事
関西地連府県連協議会	中村常勤理事
関西地連大規模災害対策協議会	小山事務局長
近畿地区生協府県連協議会	中村常勤理事 小山事務局長

(3) 行政関係等

会議名等	担 当
大阪府消費者審議会	中村常務理事
大阪府食の安全安心推進協議会	中村常務理事
おおさかスマートエネルギー協議会	小山事務局長
大阪府食育推進ネットワーク会議	小山事務局長
大阪府男女共同参画推進ネットワーク	鎌田理事
豊かな環境づくり大阪府民会議	小山事務局長
農に親しむライフスタイル推進府民会議	小山事務局長
近畿農政局大阪地域センター食の安全安心ネットワーク会議	小山事務局長
福祉と共生のまちづくり推進会議	中村常務理事
大阪府下避難者支援団体等連絡協議会	中村常務理事

(4) 他団体等

団体名	担 当
大阪労働者福祉協議会	柴橋副会長理事 (理事)
大阪ユニセフ協会	惣宇利会長理事 (理事)
大阪みどりのトラスト協会	惣宇利会長理事 (理事) 中村常務理事 (運営委員)
公益財団法人大阪社会運動協会	柴橋副会長理事 (理事)
ピース大阪	小山事務局長 (運営委員)
関西消費者協会	中村常務理事 (理事)
消費者支援機構関西	中村常務理事 (理事)
なにわの消費者団体連絡会	中村常務理事 (幹事)
全大阪消費者団体連絡会	小山事務局長 (常任理事)
新しい消費者行政を実現する連絡会	中村常務理事
大阪コンシューマーズネットワーク	中村常務理事 小山事務局長
地球環境と大気汚染を考える全国市民会議	安本専務理事 (監事)
大阪省エネラベルキャンペーン実行委員会	小山事務局長
温暖化防止ネットワーク関西	小山事務局長

5 創立60周年記念事業の件

中村常務理事より、大阪府生協連の創立60周年記念議場事業について、①「冊子おおさかの生協に会員生協紹介を掲載する」、②「来年1月23日開催の政策討論集会を記念企画とする」旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

6 生協大会開催企画の件

中村常務理事より、生協大会の開催企画について

提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

[日 時] 2013年11月14日(木)
10時30分～14時30分終了予定

[場 所] ドーンセンター 7階ホール・
1階パフォーマンススペース
(大阪市中央区大手前1-3-49)

[開催規模] 500名

[参加対象] 大阪府生協連会員生協 組合員、役職員

[開催趣旨]

生協大会は「会員生協の組合員活動を中心とした取り組みについて、生協の業態や地域を越えて交流し、府内における生協活動の、より一層の広がりをつくること」を目的に開催します。

今年度は、「地域によりそう生協に」をテーマに、地域社会の一員として「安心してらせる地域社会づくり」に対する生協の役割や、見守り活動や買い物支援、子育て支援等、事業や活動を通して広がる生協の社会的役割について会員生協の取り組みから考えることをテーマに開催します。

また、会員生協のさまざまな取り組みについて展示を行い、所属生協を超えた、組合員・役職員の活動交流の場とします。

[開催要領]

10:00 受付開始

10:30 開会
主催者挨拶

10:40 記念公演「新しい地域福祉と生協への期待(仮)」
桃山学院大学教授 ^{まつのはな}松端 克文 氏

11:55 会員生協報告

①医療生協かわち野生協
「高齢者にやさしい街づくり推進運動について(仮)」

②おおさかパルコープ
「地域によりそう子育て支援」

③大阪いずみ市民生協
「買い物困難者への支援、見守り活動、ソーシャルビジネスの取り組みなど(仮)」

12:40 ホール企画終了
※この後、活動展示コーナーで展示鑑賞と交流

14:30 終了(予定)

7 分野別会議開催企画の件

中村常務理事より、地域生協、医療生協、大学生協の分野別会議の開催企画について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

- ①出席依頼は各会員専務理事宛とし、専務理事が出席できない場合は代理の方の出席を要請する。
- ②開催日程は10月下旬から12月上旬の期間とし、予め、出席予定者の日程を調整した上で設定する。
- ③議題は「2013年度上期事業報告と下期及び2014年度重点課題等について」とする。また各分野別の共通する課題等について進行担当理事と調整し、二つ目の議題として設定する。
- ④進行は、各分野別の常任理事で担当する。

8 9条世界会議への賛同金の支出の件

中村常務理事より、「9条世界会議・関西2013」へ賛同金の支出について、提案を修正し、100万円支出する旨提案がされた。安本専務理事より同世界会議実行委員会での議論の進捗状況と大阪府生協連からの賛同金の考え方について補足がされた。

討議の結果、賛同金については、一旦100万円とし、状況に応じての金額変更については理事会4役(会長理事、副会長理事、専務理事、常務理事)に一任することが、全員異議なく承認された。

なお、間理事、池田常任理事より「大阪府生協連の賛同金の金額設定の考え方と会員生協への賛同要請の整合性について」、江口理事より「大阪府生協連として憲法をテーマとした取り組みについて」、柴橋副会長理事より「実行委員会情報の開示について」意見が出された。

報 告 事 項

大阪府生協連

1 委員会開催報告

(1) 第3回生協大会実行委員会

【日 時】 2013年6月26日(水) 10時～11時
【場 所】 大阪府社会福祉会館 2階203
【出席者】 野村(いずみ)、山田・加藤(よどがわ)、南埜(エスコープ)、木村(きづがわ)、小西(かわち野)、志垣(全労済)、惣宇利・上原・中村・小山(府連)
以上11名

【議 題】

- (1) 企画の具体化について

【議事結果】

- ① 基調講演について、桃山学院大学社会学部社会福祉学科の松端(まつのはな)教授にご講演いただくことを確認した。また開催要領を確認した。
- ② 会員活動報告を担当する、いずみ、パル、かわち野から報告概要について紹介がされた。また、地域社会・地域福祉づくりへの会員生協の取り組み事例を募り、当日配布資料に資料報告として掲載することが確認された。
- ③ 展示の出展要項について確認した。外部からの参加として、ユニセフ協会から出展いただくことが確認された。
- ④ 当日の運営について、司会をエスコープに担当いただくことが確認された。また昼食の手配と子どものお世話スタッフの手配についてパルコープに依頼することが確認された。

(2) 第4回文楽・コンサート実行委員会

【日 時】 2013年7月10日(水) 10時～11時
【場 所】 大阪府社会福祉会館 4階406
【出 席】 安嶋・重見(いずみ)、吉川・久保・西田(よどがわ)、伊藤(エスコープ)、平手(パルコープ)、中(こうべ)、斎藤(自然派)、羽村(かわち野)、貴船(学校)、岡田(全労済)、惣宇利・矢田部・小山(府連) 以上15名

【議 題】

- (1) 夏休み文楽鑑賞のつどいの取り組みについて
- (2) 夏休みファミリーコンサートの取り組みについて

【議事結果】

- (1) 夏休み文楽鑑賞のつどい
 - 申込状況、座席指定券、割引券の配布状況について確認した。避難者招待について12家族34名から申込があった。
 - 当日の運営、実行委員会の任務等について確認した。
 - 劇場内のお食事処のメニュー構成について、夏休み企画の参加層には合わないとの意見が出され劇場に伝えることとした。
 - アンケートの内容について確認した。
- (2) 夏休みファミリーコンサート
 - 申込みについて、午前の部、午後の部とも定員を下回る状況となった。避難者招待について18家族52名から申込があった。

- 申込人数の減少については次回委員会で次年度に向けた対策について協議することが確認された。
- 当日の運営について確認した。

(3) 第1回組織活動委員会

[日 時] 2013年7月17日(水)
14時～16時7分

[場 所] 大阪府社会福祉会館 2階203

[出席者] 西村・阪野(いずみ)、中(こうべ)、上垣(よどがわ)、武田(パル)、橋本(自然派)、田中吉・田中利(大阪府みどり公社)、松本・小山(府連) 以上10名

[議 題]

- (1) 学習「うちエコ診断について」
- (2) 2013年度第1回全国組合員活動委員会報告
- (3) 9条世界会議・関西2013について
- (4) この間の取り組み報告と交流

[議事結果]

- ①大阪府みどり公社の方を招き、家庭のCO₂排出状況の診断を行う「うちエコ診断について」学習した。
- ②いずみ市民生協・阪野委員より、第1回全国組合員活動委員会の概要について報告がされた。
- ③9条世界会議・関西2013の取り組み及び準備の進捗状況について報告がされた。また今後、会員生協に広報をすすめていくことが報告された。
- ④この間の特徴的な取り組みについて報告、交流がされた。

日本生協連、他生協等

2 日本生協連2013年度第1回県連活動推進会議参加報告

[日 時] 2013年7月16日(火) 13時～
17日(水) 12時00分

[場 所] コーププラザ13階 特別会議室

[出席者] 43県連、日本生協連12名

[議 題]

- (1) 会長挨拶 浅田克己会長
 - (2) 講 演
「厚生労働省の重点施策について～生活困窮者自立支援法案～」
- 報 告
「『省令等の改正』と『生協業務指導』について」
厚生労働省社会・援護局 地域福祉課

消費生活協同組合業務室長

井上雅裕氏

- (3) 第12次中計の実践に向けて
嶋田裕之専務理事
- (4) 2013年度方針・特別課題
(東日本大震災支援、エネルギー政策、消費者行政、ポストIYC等)の今後の取り組みについて
和田寿昭専務理事
- (5) 県連活動交流 I
テーマ：震災復興、エネルギー政策、地域支援
報 告：岩手県連、宮城県連、富山県連、茨城県連
- (6) 県連活動交流 II
テーマ：消費者行政、ポストIYCなど協同組合間提携、平和の課題等
報 告：新潟県連、三重県連、和歌山県連、愛媛県連、沖縄県連、広島県連
- (7) 事業種別連合会からの報告
「2013年度活動の重点と地域・県連活動」
 - 1) 全国労働者共済生活協同組合連合会
飯倉裕之経営企画部次長
 - 2) 全国大学生生活協同組合連合会
福島裕記専務理事
 - 3) 日本医療福祉生活協同組合連合会
東久保浩喜常務理事
 - 4) 日本コープ共済生活協同組合連合会
荻原多加資専務理事

3 2013年度第1回近畿地区生協府県連協議会参加報告

[日 時] 2013年7月8日(月)
13時30分～17時

[場 所] 春日ホテル(奈良県)

[出席者] 瀧川・辻・新田・清水(奈良)、
檜尾(福井)、西山・藤田(滋賀)、
上田・藤井(和歌山)、横山・酒向(京都)、
三宅・濱田(兵庫)、西島(KC'S)、
辻(関西地連)、惣宇利・中村・小山(府連) 以上18名

[議 題]

- (1) 第25回近畿地区生協・行政合同会議について(和歌山)
- (2) ポスト国際協同組合年の取り組みについて
- (3) ICA「協同組合の10年に向けたブループリント」などについて(関西地連)
- (4) 各府県連からの特徴的な活動報告と交流

- (5) KC'Sからの活動報告
(5) 代表世話人について
※次回10月30日(水) 会場：和歌山

会員及び友誼団体等

4 消費者支援機構関西報告

○2013年度通常総会 & 記念シンポジウム

[日 時] 2013年6月22日(土)
13時30分～14時20分
※終了後記念シンポジウム開催

[場 所] エル・おおさか 南ホール

[出 席] 出席表決件数98票／表決権総数114票

[議 案]

- 第1号議案 2012年度事業報告承認の件
第2号議案 2012年度決算承認の件
監査報告
- 第3号議案 役員選任の件
第4号議案 定款変更の件
- ※全議案賛成多数、第4号議案は2／3以上の賛成多数で可決承認されました。
- 報告事項1 2013年度事業計画の件
報告事項2 2013年度活動予算の件

[記念企画]

シンポジウム

『集团的消費者被害回復制度とKC'Sの役割』

- ①基調報告「消費者団体訴訟制度ができた経過、適格消費者団体の歩み、新訴訟制度の展望」

坂東 俊矢常任理事（京都産業大学法科大学院科長 弁護士）

- ②集团的消費者被害回復に係る訴訟制度の概要報告

黒木 理恵内部新制度プロジェクト事務局長（弁護士）

- ③パネルディスカッション

「集团的消費者被害回復制度とKC'Sの役割」

進 行：二之宮義人常任理事
（弁護士）

パネリスト：

足立 敏氏
（前京都府消費生活安全センター長）

酒井富美子氏
（ひょうご消費者ネットワーク理事）

五條 操氏 検討委員長（弁護士）

5 全大阪消費者団体連絡会報告

○常任理事会

[日 時] 2013年7月3日(火)
15時30分～17時30分

[場 所] 消団連 会議室

[出 席] 7団体8名 府連・小山

[議 題]

(1) 報告事項

1) 消費者委員会

- 大阪府消費者保護条例改正に係る学習会を開催する。

7月11日(木) 13:30～16:00

大阪府社会福祉会館402

「消費者の声でよりよい改正を！」

大阪府消費者保護条例改正問題学習会」

講師 吉田 実弁護士

（条例改正検討部会委員）

2) 食問題委員会

- 6/14に食品表示一元化法案に関する学習会を開催。

3) 消費税の増税に反対する活動

- 消費税増税中止を求める団体署名683通を安倍総理宛に提出

(2) 主な協議事項

1) 機関誌編集・拡大について

2) TPP交渉参加問題に対する対応について

3) 大阪府消費者保護条例に係るパブリックコメントについて

6 会員生協（地域・医療・大学）2012年度決算

（内容省略）

行政等

7 平成25年度第1回近畿農政局大阪地域センター食の安全・安心情報ネットワーク会議参加報告

[日 時] 2013年7月10日(水)
13時30分～16時35分

[場 所] 大阪地域センター 第1会議室

[出席団体] 関西消費者協会、全大阪消費者団体連絡会、なにわの消費者団体連絡会、おおさかの消費者運動刊行フォーラム、関西消費者連合会、大阪府食生活改善連絡協議会、日本主婦連合会、大阪府農業協同組合中央会、大阪府

食の安全・安心推進委員会、近畿農政局大阪地域センター

[内 容]

- (1) 安全・安心のための食生活と歯・口の健康について
豊田歯科医院院長 豊田 裕章 氏
- (2) 意見交換
- (3) その他、大阪地域センターからの情報提供

8 平成25年度大阪府生協検査日程

(内容省略)

「夏休み文楽鑑賞のつどい」を 開催しました

7月26日(金)、「夏休み文楽鑑賞のつどい」を国立文楽劇場（大阪府中央区）で開催しました。「夏休み文楽鑑賞のつどい」は、劇場の協力を得て今年で21回目を迎えます。大阪で生まれた古典芸能「文楽」の鑑賞を通じて、日本の文化・芸能の良さを知っていただくことを目的に開催しています。11会員生協から定員を上回る申込をおたがき、抽選を経て、661名の組合員が当選されました。また東日本大震災により大阪及び近隣府県に避難されている方に無料招待を案内し、12家族34名から申込をいただきました。当日は692名が来場されました。

今年の演目は「金太郎の大ぐも退治」と「瓜子姫とあまんじゃく」を上演しました。まるで生きているかのように動く人形にびっくりしました。「文楽解説コーナー」では人形遣いの体験も行いました。



「夏休みファミリーコンサート」を 開催しました

7月29日(月)、「夏休みファミリーコンサート」を、NHK 大阪ホールにて開催しました。

この夏休みファミリーコンサートは、日本センチュリー交響楽団の協力により、今年で23回目を迎えました。

今年のコンサートは午前・午後の2回公演に、13生協から2,179人の申込みがありました。また、東日本大震災により、大阪府及び近隣県に避難されている方を無料招待し、午前午後合わせて18家族52名から申込みがありました。

当日は午前の部に1,127人、午後の部に965人が来場されました。

「音楽の花を咲かそう～想いよ、届け～」をサブタイトルに、映画「スターウォーズ」のメインタイトルをオープニングに、数パターンのリズムによる手拍子でオーケストラとの共演、ディズニーメドレーから白鳥の湖など名作の演奏を楽しみました。またNHK復興支援ソング「花は咲く」を合唱しました。



社会福祉問題研修会を開催しました

7月31日(木)、大阪府社会福祉会館にて、2013年度の「社会福祉問題研修会」を開催しました。17会員生協、連合会から76名が参加しました。

今年度の研修会は、地域福祉の今後のあり方や、その中での生協の役割等を学ぶことを目的としました。桃山学院大学の松端（まつのはな）教授を講師にお招きし「新しい地域福祉とコミュニティの活性化」と題して講演いただきました。

松端先生からは、急速に進む高齢化社会の中で、単身高齢世帯の増加、老老介護等でキーワードは「孤立」。地域コミュニティの希薄化、社会のファストフード化として、今の社会の効率性、制御の論理が重視される社会、役割とマニュアルに基づいた匿名的なコミュニケーションの中で、人も場所も「入れ替え可能」となる、剥奪される人間関係など地域福祉の現状を話されました。

これからどのようにつながりを作っていくのか、「地域」とは意識していく中で、地域になっていく。地域福祉の2つの側面「地域住民の暮らしをまもる」「地域住民のつながりをつくる」は、生協の地域コミュニティの場づくりへのチャレンジとなる。買い物困難者への支援活動とともにすすめる高齢者への安否確認はこれからの重要な社会資源となること。

福祉関連の施設や事業所、社会福祉協議会との連携でサロン活動的な活動が有効となる等の話がされました。

これからの生協の社会的役割において地域社会づくりへの参画へのヒントとなる研修会となりました。



東日本大震災被災地支援活動 2013年度の取り組み

■東日本大震災被災地支援バス 第1回報告

5月23日(木)、今年度の「東日本大震災被災地支援バス」の第1回を運行しました。今回の参加は6会員生協から18名の組合員さんで、女性11名、男性7名の構成で、18歳～70歳の幅広い年代層から参加いただきました。

今回の行程は、23日の夜に大阪を出発し、翌24日(金)は福島県いわき市にて被災地視察等、25日(土)は宮城県南三陸町にて漁協の作業支援やお話交流を行い、26日(日)の朝に帰阪する内容でした。

5月24日(金)は、朝8時30分に、福島県いわき市の「3・11被災者を支援するいわき連絡協議会」に到着しました。同協議会は正式名称が長いので、愛称を活動のスローガンとされている「みんなが復興の主役!」から下線の部分をつなげ「みんぷく」としています。震災当初から現在に至るみんぷくの支援活動についてのお話、バスの車窓から仮設住宅の状況や被災地の現状についての視察、語り部さんからの被災体験、今回の体験から防災・減災への備えについての学習等、みんぷくさんがプログラムされた「防災・減災ツアー」を体験しました。

5月25日(土)は、宮城県南三陸町の宮城県漁協志津川支所さんを訪ね、養殖カキの殻むき作業に係るお手伝い、漁船に乗り養殖筏の見学、漁師の方達とお話交流を行いました。地元の方からの「被災地の事が忘れられているのが一番つらい」「来てくれるだけでありがたい、見たこと聞いたことを周りの人に伝えてほしい」「全国からの支援への感謝の気持ちは一生忘れない」「地震は何処で起きるかわからない。東北の経験を活かしてほしい」等の言葉が大変印象に残りました。

その後、南三陸町の市街地と復興商店街の視察を経て大阪へ、26日(日)の朝6時過ぎに無事到着し解散しました。

今回のツアーをスタートに10月まで全7回運行します。



■東日本大震災被災地支援バス 第2回報告

7月11日(木)、今年度の「東日本大震災被災地支援バス」の第2回を運行しました。今回の参加は5会員生協から18名の組合員さんで、女性11名、男性7名の構成で、22歳～70歳の幅広い年代層から参加いただきました。

今回の行程は、11日の夜に大阪を出発し、翌12日(金)は福島県いわき市にて被災地視察等、13日(土)は宮城県南三陸町にて漁協の作業支援や交流を行い、14日(日)の朝に帰阪する内容でした。

7月12日(金)は、朝9時に、福島県いわき市の「3・11被災者を支援するいわき連絡協議会」通称^{※1} みんなの代表赤池さんにバスの車窓から仮設住宅の状況や被災地の現状についての話していただき、4月以降住民の一時帰宅が認められた広野町は閑静な住宅街と広がる畑、普通の街並みが広がっていました。しかし人影がなく、畑や道路脇には黒い袋に包まれた放射能汚染の土壌が積まれていました。浜風商店街には、津波により商店街が壊滅しましたが、10軒の人々が仮設店舗を立てて、被災の現状を語りながらお店を運営されていました。

いわき市の仮設住宅の一角にあるみんな事務所で、震災当初から現在に至るみんなの支援活動、被災体験、今回の体験から防災・減災への備えについての学習等、みんなさんがプログラムされた「防災・減災ツアー」を体験しました。

7月13日(土)は、宮城県南三陸町の宮城県漁協志津川支所さんを訪ね、養殖カキの種付け用しかけづくりと土嚢づくりを行いました。また、漁船に乗り養殖筏、カキの生育状況の見学、漁師の方達とお話交流を行いました。カキは産卵のため食べることはできませんでしたが、成長していることを確認しました。地元の方からの「大阪から何時間もかけて来てくれることがありがたい」「見たこと聞いたことを周りの人に伝えてほしい」「地震は何処で起きるかわからない。東北の経験を活かしてほしい」等の言葉が大変印象に残りました。

その後、南三陸町の市街地と復興商店街の視察を経て大阪へ、14日(日)の朝6時過ぎに無事到着し解散しました。

※1 みんな「3・11被災者を支援するいわき連絡協議会」同協議会は正式名称が長いので、愛称を活動のスローガンとされている「みんなが復興の主役!」から下線の部分をつなげ「みんなの」としています。



■東日本大震災被災地支援バス 第3回報告

8月1日(木)から4日(日)の日程で、「東日本大震災被災地支援バス第3回」を運行しました。今回は5会員生協から17名の組合員さんが参加されました。女性6名、男性11名の構成で、30歳代～60歳代の幅広い年代層から参加いただきました。

今回の行程は、8/1(木)の夜に大阪を出発し、8/2(金)の朝に福島県広野町に到着して被災地の視察、同日に宮城県南三陸町に移動し宿泊。8/3(土)は宮城県南三陸町にて漁協の作業支援、被災地視察を行い、8/4(日)の朝に帰阪する内容でした。

8月2日(金)は、朝8時45分に、福島県広野町に到着し、隣町のいわき市に拠点がある「3・11被災者を支援するいわき連絡協議会(通称 みんぷく)」の方と合流し、楢葉町、広野町、いわき市を周り、被災の状況や復興の現状について建学し、復興商店の「浜風商店会」に立ち寄り、被災当時の状況等について、当時の写真を見ながらお話をお聞きました。また、バスの車窓から仮設住宅の状況を視察し、みんぷくさんの事務所での防災減災についての学習を行いました。

8月3日(土)は、宮城県南三陸町の宮城県漁協志津川支所さんを訪ね、養殖カキの作業に係るお手伝いとして、カキの稚貝が付いているホタテの貝殻を筏につるすロープに挿み込む作業を午前中に行い、お昼はご弁当を食べながら漁師の方達と交流し、午後は、漁協の養殖カキ部会の遠藤部会長、行場副部会長の案内で、南三陸町市街地の見学を行いました。市街地が一望できる高台では、同じ場所からの震災前の町の写真が掲示されていて、現在の姿とのあまりの違いにあらためて被害の大きさを実感しました。

その後、南三陸町の市街地と復興商店街の視察を経て大阪へ、4日(日)の朝6時に無事到着し解散しました。



■東日本大震災被災地支援バス 学生ツアー報告

次代を担う若い世代に被災地に行く機会を提供し、被災地の現状を学び、大阪の仲間に伝えることを目的に、8月22日(木)から25日(日)の日程で、「東日本大震災被災地支援バス学生ツアー」を運行しました。会員大学生協を通じての募集に、大阪教育大学生協1名、大阪電気通信大学生協4名、大阪府立大学生協8名、近畿大学生協2名の学生委員メンバーと、この間の支援バスに参加された組合員のご家族3名(内1名は高校生)の合計18名の学生が参加されました。

8月22日(木)の夜7時に大阪を出発し、翌23日(金)の朝8時25分に、宮城県南三陸町に到着しました。この日は宮城県漁協志津川支所さんを訪ね養殖カキの作業のお手伝いです。午前中は養殖いかだの重石の土のうづくりです。一袋60Kgの土のうを、いかだひとつ分140個を目標に作業をしました。慣れないスコップの扱いと重たい土のうに腕の筋肉はパンパンになりました。約2時間の作業で、目標には届きませんでした。120個の土のうを作りました。作業のご褒美に漁船に乗せていただき志津川湾を周遊しました。カキの養殖の行程を学び、自分たちが作業したことがどのようになるのかを知りました。またホタテやほやのいかだも周りました。お昼休憩の後、午後の作業は、カキの種付け用の原版づくりです。ホタテの貝殻への穴あけと、ワイヤーに貝殻を通す作業です。夜行バスと午前の作業の疲れから来る睡魔と闘いながら頑張りました。3時に作業を終え、カキ部会の遠藤部会長の案内で南三陸町の市街地をバスで周りました。建物の土台から整理し更地化する町、地盤沈下で海水に浸かっている地域、骨組みだけ



の姿の防災対策庁舎、街を一望できる丘で震災前の同じ場所からの写真との見比べ等、変わり果てた町の姿に言葉が出ませんでした。ホテルの夕食では志津川支所カキ部会の遠藤部会長、行場副部会長、佐々木さんと一緒に今日一日の感想を交流しました。

8月25日(土)は、朝8時20分にホテルを出発し、午後1時に福島県広野町に到着しました。今日一日案内をしていただく隣町のいわき市に拠点がある「3・11被災者を支援するいわき連絡協議会（通称 みんぷく）」の方と合流し、楢葉町、広野町、いわき市を周り、被災の状況や復興の現状についての見学と、復興商店の「浜風商店会」に立ち寄り、被災当時の写真を見ながらの語り部。また、バスの車窓から仮設住宅の状況を視察し、みんぷくさんの事務所で被災者支援の活動や防災減災についての学習を行いました。避難指示解除準備区域の楢葉町は原則として寝泊まりが出来ない地域で、住民の方は昼間だけ家の片づけ等で戻ることが出来る地域です。津波に壊された家、流された車や倉庫、人が戻らず雑草まみれの家など、震災当時のままの姿や2年半放置された町の様子に復興まで程遠い現状を知りました。またみんぷくさんでは一旦崩壊した地域コミュニティを、もう一度作り直すために活動されていることに感銘を受けました。

短い期間でしたが、被災地の現状を知り、自分たちの日常とかけ離れ、日本で起こっている現実の姿に、今一度被災地に対し私たちが出来ることは何か考える機会となりました。



福島の子ども保養プロジェクト

コヨット! in おおさか



2013年7月23日(火)~26日(金)

はじめてのおおさか! そうめん流し、USJ!

福島の子ども25名元気いっぱい、思いっきりあそびました。

【主 催】 大阪府生活協同組合連合会

【共 催】 福島県生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合

【協 力】 大阪みどりのトラスト協会、近畿労働金庫

■日程とスケジュール

7月23日(火) 福島県郡山市出発!12時間かけておおさかへ!

宿泊: ほの字の里

7月24日(水) そうめん流し、たこ焼きづくり

宿泊: ほの字の里

7月25日(木) USJ (ユニバーサルスタジオジャパン)、マンチェスターユナイテッド公開練習観戦

宿泊: ほの字の里

7月26日(金) さよならおおさか福島県へ!

【7月23日 いざおおさかへ!】

7月23日(火)朝8:20 郡山駅から大型バスが出発。前日の大雨の影響により、電車が、停まっているなどのハプニングがありましたが、福島県内の小学生4年生から6年生の25名の子どもたちが乗車し、おおさかの南部にあるほの字の里に向かいました。車中では、高校生ボランティアの柴田桂希君が不安いっぱいな子どもたちを自己紹介、ゲームなどでなごませてくれました。バスは2時間おきに高速道路のサービスエリアで休憩しながら、12時間かけて20時ごろに到着しました。少々疲れ気味の子どもたちでしたが、温泉のお風呂にはいり、さっぱりとして、夜のお楽しみの枕投げなどをして就寝しました。



【7月24日 そうめん流し、たこ焼きづくり】

翌日は、そうめん流し、たこ焼きづくり。朝から、そうめん流し用の竹の切りだしをし、竹のお箸、器づくりをしました。そのお箸、器で食べるそうめん流し。初めて体験する子どもたちが多く、「うまくそうめんがつかめない」などわいわい言いながら、そうめんと一緒に流れてくる、プチトマト、きゅうり、みかんも堪能しました。食べるだけではなく、そうめんを流す体験もしました。その後竹水鉄砲、クラフトづくりを楽しみました。



おやつどきに、グループにわかれてたこ焼きづくり。う

まくたこ焼きが焼けてお店に出せそうなグループやこげてしまったグループもありましたが、自分たちで焼いたたこ焼きは「最高」！でした。

そして、夜は、バーベキュー。お肉大好きな子どもたち。3杯のごはんをおかわりをした子どももいました。バーベキュー後はみんなの大好きな花火を楽しみました。



【7月25日 USJ！（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）】

まちに待ったUSJの日、朝6時半に起床し体調チェック、7時ラジオ体操後、朝ご飯を食べて、9時30分頃にユニバーサル・スタジオ・ジャパンに到着しました。園内では5つのグループに分かれ行動しました。グループには高校生、大学生のボランティアスタッフ17名を各3～4名配置し、子どもたちと一緒にアトラクションを回りました。各グループで、効率よくアトラクションを回ってたくさん乗れたと大喜びでした。学生ボランティアスタッフのオリジナルの案内や機転を利かせた対応が好評でした。



USJで遊んだ後、今サプライズ企画！ユニセフ協会からのつながりで、マンチェスターユナイテッドの公開練習を長居スタジアムで観戦しました。世界有数のビッククラブのスターや香川選手の練習を真近で見ることができ、いい思い出となりました。



【7月26日楽しかったおおさか！福島へ】

楽しかったおおさか！みんなと別れがさびしくて遅くまで起きていた子どもたち。朝7時のラジオ体操も、朝ご飯をなかなか進まずに、8時20分ごろ福島県に向けてほの字の里を出発しました。バスの中で楽しかった思い出を話すとともにビンゴゲームを楽しみました。福島県に近づくと高校生ボランティアの柴田君との別れを惜しんで、泣いていた子どもたちもたくさんいました。そして、郡山駅には20時20分とおおさかに行く時間より長くかかりましたが、笑顔でお別れをしました。大きなけがなく全員元気で福島に帰りつくことができました。

【コヨット！ in おおさかと並行し、福島県里帰りバスを実施しました】

大阪からの福島の子どもの送迎バスを活用して、福島県から大阪に避難している方の「福島県里帰りバス」を、7/22に往路・7/27に復路で実施しました。大阪市ボランティア・市民活動センターが発行する広報紙で募集し、4世帯8名がご利用されました。

～大阪府生協連ジェンダーフォーラム協議会から～

“女だから”“男だから”はもうやめよう!

私が思う男女(女男)共同参画

生活協同組合コープこうべ
大阪北地区本部 野間 誠

大阪府連：2013年度『第1回ジェンダーフォーラム協議会』に、はじめて参画させていただき、あらためて、「ジェンダー」・「男女共同参画」について考える機会をいただきましたことに感謝しております。

私は、1957年に、愛媛県の瀬戸内海の小さな島で生まれました。私が生まれたとたん、「男の子ですよ。」と、6歳下の妹は「女の子ですよ。」と医師から告げられました。

この誕生と同時に告げられた性によって、おもちゃの与え方、アニメや、絵本など、男女に分けられた子育ての違いによって、私は「男の子」であり、妹は「女の子」であるという【性を自覚】して成長してきたと思います。現在の子育ては少し違うかもしれませんが、当時は、一般的にも同様の子育てをされてこられたように思います。このように社会や文化が二分化し、そのことによって形成される性差、つまり社会的・文化的性別が「ジェンダー」なのかと思います。

1975年に、生活協同組合コープこうべ（当時、灘神戸生活協同組合）に入所して、生協運動の専従者として今日に至っておりますが、結婚して子供ができるまでの数年は共働きをし、子供が生まれてからは、妻は仕事を辞めて出産・子育ての専業主婦になりました。このことは私自身、何の疑問もなく、「男性は外、女性は内」という性別分業を、ごく自然の流れとして暮らしてきたように思います。妻自身も、「もっと社会の表舞台で活躍をしたかった」と思っていると思いますが、そのことを実現させてあげることができていない私自身の都合（男は外で、仕事・仕事…。妻は内で、育児、家事＝家庭を守ってほしい。）がありました。

また、娘・息子の子育てにおいても、娘は「女性らしく」、息子は「男性らしく」と、私自身の都合で育ててきたように思います。これは、性別役割を必要とする社会（男性中心の性別社会）が、「女性はこうあるべき」…例えば、「子育ては女性の役割」とする考え方等…、男性にとって都合がよい社会の枠組みの中に私自身がいたからだと思います。このことが「ジェンダー」そのものであることも学びました。同時に、「ジェンダー」・「男女共同参画」の重要性（女性がもっともっと活躍できる社会や、男性の家事やイクメン等、男女双方が従来各々の「領域」と言われた分野に積極的に取り組むことで相互理解を深め合える社会づくり）と、本質的な根の深い大きな課題であることを【学び（気づき・反省）】をする機会となりました。

【ジェンダーフォーラム協議会「男女共同参画の推進」】の一員として、また、生協運動をすすめていく専従者として、あらためて、生協の原点に立ち返り、賀川豊彦が説いた中心思想【利益共楽、人格経済、資本協同、非搾取、権力分散、超政党、教育中心】と、コープこうべ：大阪北地区の前身である『豊中睦生協～大阪北生協』の初代会長：藤田スミさんの精神【女性も男性も平等に、みんなが仲良く助け合い、みんなが幸せになる生協をつくろう】を深く考える“暑い&熱い…夏”になりました。

スケジュール

9月

- 4日 第4回生協大会実行委員会
- 4日 大阪府食の安全安心推進協議会
- 5日 第2回大規模災害対策協議会
- 5日 東日本大震災被災地支援バス⑤（～8日）
- 13日 大阪府スマートエネルギー協議会
- 17日 会報 No306発行
- 26日 東日本大震災被災地支援バス⑥（～29日）

10月

- 2日 理事・監事研修会
- 8日 第2回ジェンダーフォーラム協議会
- 13日 9条世界会議・国際会議
- 14日 9条世界会議・関西2013
- 17日 第2回理事会
- 18日 第2回組織活動委員会
- 24日 東日本大震災被災地支援バス⑦（～27日）

11月

- 10日 大阪府泉北地域3市1町合同防災訓練（泉大津）
- 14日 生協大会・第5回生協大会実行委員会
- 15日 会報 No307発行
- 26日 第3回ジェンダーフォーラム協議会

12月

- 12日 第3回大規模災害対策協議会
- 17日 大阪府検査
- 19日 第3回理事会
- 24日 会報 No308発行

1月

- 23日 第4回理事会
- 23日 政策討論集会

2月

- 13日 第4回大規模災害対策協議会
- 14日 第3回組織活動委員会
- 19日 第1回文楽・コンサート実行委員会

3月

- 4日 第4回ジェンダーフォーラム協議会・学習講演会
- 12日 第2回文楽・コンサート実行委員会
- 17日 会報 No309発行
- 17日 第1回生協大会実行委員会
- 20日 第5回理事会